資料1

令和４年度第１回
北九州市上下水道事業検討会

北九州市上下水道事業
中期経営計画 2025 の
進捗管理

（令和４年度予算）

～ 目 次 ～

１　令和４年度　上下水道局　経営方針・・・・・・・・・・・　１ページ

２　令和４年度　上下水道局予算　主要事業・・・・・・・・・　１ページ

（１）上下水道施設の強靱化・・・・・・・・・・・・・・・・・　１ページ

（２）環境負荷の低減・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３ページ

（３）国内外への貢献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３ページ

（４）Ｄ×の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４ページ

中期経営計画体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５ページ

中期経営計画実施事業設定目標一覧・・・・・・・・・・・　６ページ

３　令和４年度　上下水道局予算　経営状況・・・・・・・・・１６ページ

（１）水道事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７ページ

（２）水道用水供給事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８ページ

（３）工業用水道事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９ページ

（４）下水道事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０ページ

1　令和４年度　上下水道局　経営方針

「上下水道事業基本計画 2030（R3～R12）」及び「上下水道事業中期経営計画 2025（R3～R7）」に基づき、着実に事業を推進するとともに、経費節減や増収対策など、経営基盤の強化に努め、「お客さまに信頼される上下水道」を目指します。

具体的には、上下水道施設の長寿命化や改築・更新、災害対策などに取り組むとともに、本市の持つ高い上下水道技術を国内外で活用し、上下水道事業の発展的広域化や国際貢献の推進に取り組みます。

■重点的に取り組むもの

○ 上下水道施設の強靱化	○ 環境負荷の低減
○ 国内外への貢献	○ DX の推進

2　令和４年度　上下水道局予算　主要事業

（１）上下水道施設の強靱化

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組むとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進め、市民の生活を守ります。

○上下水道施設の長寿命化と改築･更新　　14，823，909千円

※令和３年度２月補正予算（132,500 千円）と合わせ、14,956,409 千円の事業費を計上

上下水道事業を持続していくため、長期的な視点に立って効率的・計画的な上下水道施設の改築更新を進めます。

【アセットマネジメント手法を活用した効率的・効果的な更新】

1-1-1 ・配水管等の更新　6,297,056 千円

配水管更新（L＝38.5ｋｍ）、導送水管更新（L＝ 1.7ｋｍ）

1-1-1 ・浄水施設の更新　1,674,413 千円

堀越ポンプ場特高受変電設備更新電気計装工事、

本城浄水場ろ過池長寿命化工事　など

1-1-1 ・工業用水道施設の改築更新　764,616 千円

小竹配水池～三井鉱山配水管布設替工事　など

1-1-1 ・下水道施設の改築更新　4,095,200 千円

日明浄化センター中央監視装置改良　など

【上下水道施設の規模の最適化】

1-1-2 ・配水ブロックの改善　50,400 千円

尾倉、黒川配水池の統廃合

1-1-2 ・下水道施設の再編　1,489,500 千円

中川通ポンプ場の移転改築、

皇后崎・北湊処理区の再編、皇后崎浄化センターの再構築　など

○豪雨対策の拡充･強化　2，850，000千円

近年、局地化、集中化する豪雨から市民の生活を守るため、効果的に施設整備を進めていきます。

1-2-1 ・浸水被害の最小化　2,850,000 千円

昭和町雨水貯留管、曽根新田 14 号雨水幹線管渠築造　など

○震災対策の拡充･強化　7，761，869千円

※令和３年度２月補正予算(705,000 千円)と合わせ、8,466,869 千円の事業費を計上

大規模な地震が発生した場合においても、水道の安全で安定した給水、下水道の最低限の水処理機能を維持するため、防災・減災の観点から、施設の耐震化やバックアップ機能の強化などを図っていきます。

1-3-1 ・浄水場・配水池の耐震化　95,264 千円

畑・椎木配水池の長寿命化工事

小熊野第一配水池耐震化実施設計　など

1-3-1 ・水道管路の耐震化《再掲》　6,297,056 千円

配水管等の更新

1-3-1 ・浄化センター、ポンプ場の耐震化　250,000 千円

門司港ポンプ場耐震補強工事　など

1-3-1 ・下水道管渠の耐震化　1,070,000 千円

日明遮集幹線、東二島北湊主要幹線管渠更生　など

1-3-2 ・バックアップ機能の強化　49,549 千円

八重洲～城野分岐送水管整備　など

○危機管理体制の充実･強化　42，000千円

気候変動の影響による自然災害の増加などさまざまな災害リスクに備え、緊急時においても、安定給水、安定処理ができる体制を確保していきます。

1-4-4 ・災害時における機能確保の推進　42,000 千円

応急給水施設整備工事、マンホールトイレの整備　など

〇水管橋の維持管理　62，520千円

・ドローンを活用した水管橋の点検強化

・水管橋外面更生　　など

（２）環境負荷の低減

水環境の向上や、資源の有効活用などによる環境負荷低減を推進します。

3-1-1

〇合流式下水道の改善推進　1，600，000千円

下水道法施行令で定められた期限（令和５年度末）までに放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減し、良好な水環境をつくります。

・西本町地内、中原東地内の管渠築造（分流化）

・日明浄化センター合流改善施設、皇后崎浄化センター高速ろ過設備　など

3-1-2

〇水質監視強化　28，781千円

下水道施設の保全や浄化センターの安定的な運転を目的として、下水処理に影響を及ぼす物質の監視強化を図ります。

3-1-4

〇省エネルギーの推進　19，800千円

電気使用量及び二酸化炭素排出量の削減を図るため、ポンプ設備の適正化などにより省エネルギー対策を実施します。

・穴生浄水場東西系送水ポンプ更新工事　など

（３）国内外への貢献

北九州都市圏域の中核都市として、上下水道事業の発展的広域化や、SDGｓの達成に寄与する国際貢献の取り組みを通じて、本市職員の技術力・実務能力の向上を図ります。

4-1-1

〇多様な広域連携の推進　13，636千円

近隣自治体との連携を強化し、発展的広域化の具体化に取り組みます。

・水道事業の広域連携に係る工法検討業務委託（京築地区）　など

4-1-2

〇外郭団体等との連携強化　1，171，510千円

外郭団体（（株）北九州ウォーターサービス）との連携を強化するとととともに民間事業者の活用を図り、発展的広域化を推進します。

・宗像地区水道施設維持管理等業務委託

4-2-1
4-2-2

○海外事業の展開　187，057千円

ＳＤＧｓの目標６「安全な水とトイレを世界中に」の達成へ寄与するため、上下水道の国際技術協力に取り組みます。さらに、協力関係で培った信頼や人的関係を基に、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との官民連携により、本市経済の活性化に繋げるための海外水ビジネスを推進していきます。

（４)DX の推進

5-2-2

○口座振替インターネット手続きの導入　4，400千円

口座振替の申込み手続きについて、お客さまがインターネットで申込み手続きができるようにし、手続きの簡便化・迅速化を図ります。

6-1-2

○AIを活用した水道管劣化診断の導入調査　20，000千円

ＡＩにより、これまで活用ができていなかった１，０００以上の周辺環境情報等の変数を用いた水道管路の劣化診断を行い、その有効性を調査します。

7-1-4

○スマートメーターの実証実験　20，000千円

自動検針やリアルタイムで入手できる水量データの活用方法について、検証・検討を行うため、藍島・馬島（約１２０戸）で水道スマートメーターの実証実験を行います。

7-1-4

○給水装置工事及び排水設備工事申請の電子化　10，000千円

給水装置工事及び排水設備工事申請について、申請者がインターネットで申込み手続きができるようにし、事務の簡便化・迅速化を図ります。

【 北九州市上下水道事業中期経営計画 2025 体系図 】

将来像	重点施策	実施事業
1 市民生活を支える強靭な上下水道をつくる		
	1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新	
		1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新
		1-1-2 上下水道施設の規模の最適化
	1-2 豪雨対策の拡充・強化	
		1-2-1 浸水被害の最小化
		1-2-2 上下水道施設の豪雨対策
	1-3 震災対策の拡充・強化	
		1-3-1 上下水道施設の耐震化
		1-3-2 バックアップ機能の強化
	1-4 危機管理体制の充実・強化	
		1-4-1 事故対応能力の向上
		1-4-2 民間事業者や他都市等との連携強化
		1-4-3 停電対策
		1-4-4 災害時における機能確保の推進
		1-4-5 自助・共助の促進に向けたソフト施策の充実
2 いつでも安心して飲める安全な水を届ける		
	2-1 水源を守るための取組	
		2-1-1 水源林の保全
		2-1-2 遠賀川の水質保全
	2-2 取水から蛇口までの水質管理	
		2-2-1 安全な水対策
		2-2-2 水源や浄水場を有効に活用した水の供給
		2-2-3 直結式給水の普及促進や小規模貯水槽水道の管理指導
		2-2-4 水質管理体制の充実
3 環境負荷の低減を図り、持続可能な社会に貢献する		
	3-1 環境負荷に配慮した事業の推進	
		3-1-1 合流式下水道の改善推進
		3-1-2 水質監視強化
		3-1-3 再生可能エネルギーの活用
		3-1-4 省エネルギーの推進
		3-1-5 資源の有効利用
	3-2 環境負荷低減に向けた研究の推進	
		3-2-1 ウォータープラザ北九州の有効活用

※青太字：R4 年度主要事業

将来像	重点施策	実施事業
4 国内外へ貢献していく		
	4-1 上下水道事業の発展的広域化	
		4-1-1 多様な広域連携の推進
		4-1-2 外郭団体等との連携強化
	4-2 本市の技術力・経験を生かした国際貢献	
		4-2-1 上下水道技術の国際協力
		4-2-2 海外水ビジネスの推進・支援
5 お客さまが求めるものをかたちにする		
	5-1 お客さまの理解と信頼を得る	
		5-1-1 効果的な広報・広聴活動の推進
		5-1-2 小学生を対象とした上下水道に関する情報発信
	5-2 お客さま満足度の向上	
		5-2-1 営業業務の見直し
	DX	**5-2-2 料金の支払や各種手続方法の拡充**
		5-2-3 上下水道事業に関するアンケート調査の実施と施策への反映
6 培われた高い技術を未来へつなぐ		
	6-1 職員の育成と活用	
		6-1-1 上下水道技術の継承・人材の育成
	DX	**6-1-2 AI 等を活用した技術の蓄積・継承の研究**
		6-1-3 上下水道技術の国際協力（再掲）
	6-2 民間事業者等との連携推進	
		6-2-1 民間事業者等との連携推進
		6-2-2 産学官連携による研究開発の推進
7 健全な経営を行う		
	7-1 効率的・計画的な事業運営	
		7-1-1 上下水道施設の規模の最適化（再掲）
		7-1-2 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新（再掲）
		7-1-3 民間事業者等との連携推進（再掲）
	DX	**7-1-4 AI や ICT を活用した業務の効率化**
	7-2 多様な収入の確保	
		7-2-1 資産の有効活用
		7-2-2 水道・工業用水道利用促進対策
		7-2-3 多様な広域連携の推進（再掲）
	7-3 経営基盤強化に向けた検討	
		7-3-1 料金体系のあり方の検討
		7-3-2 外部検討会の開催

中期経営計画実施事業設定目標一覧

※事業費は再掲の数値あり

設定目標（中期経営計画 最終目標） 項目	目標	目標年度	令和3年度 予算 単年度の目標	令和3年度 予算 取組内容	令和4年度 予算 単年度の目標	令和4年度 予算 取組内容
上水道事業						
1 市民生活を支える強靭な上下水道をつくる						
1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新						
1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新						
5年間の事業費(計画)	35,524百万円		R3事業費	7,431百万円	R4事業費	8,626百万円
浄水施設の長寿命化	5箇所	R7	1箇所着手	本城浄水場ろ過池の長寿命化工事ほか実施	1箇所完了	本城浄水場ろ過池の長寿命化完了
配水池の長寿命化	9箇所	R7	2箇所実施	高見配水池、皿山配水池長寿命化工事実施	2箇所実施（累計4箇所）	畑第2配水池、椎ノ木配水池長寿命化工事実施
マッピングシステムの機能強化	一元管理	R7	詳細検討 機能改良	6項目台帳一元化に向けての検討 工事管理機能・消火栓番号表示機能 追加	機能強化 1項目	減圧弁の点検情報についての機能強化等実施
導送水管更新	6.7km	R7	1.8km更新	導水管更新 0.4km 送水管更新 1.4km	1.7km更新（累計3.5km）	導水管更新 0.6km 送水管更新 1.1km
配水管更新	185km	R7	38.5km更新	配水管更新 38.5km	38.5km更新（累計77km）	配水管更新 38.5km
漏水率	6.0%以下	R7	漏水率 6.6%以下	漏水調査 4,000km 配水管更新 38.5km	漏水率 6.5%以下	漏水調査 3,400km 配水管更新 38.5km
1-1-2 上下水道施設の規模の最適化						
5年間の事業費(計画)	262百万円		R3事業費	12百万円	R4事業費	50百万円
配水池の統廃合（尾倉）	尾倉配水池廃止	R6	詳細設計	配水管整備（0.8km）にかかる詳細設計	工事着手	配水管整備工事実施
配水池の統廃合（黒川）	工事実施	R7	基本設計	配水管整備にかかる基本設計	実施設計	配水管整備にかかる実施設計
水需要予測及び施設規模の検討	検討内容の中間取りまとめ	R7	推進	水需要予測・施設規模の検討	推進	水需要予測・施設規模の検討
1-2 豪雨対策の拡充・強化						
1-2-2 上下水道施設の豪雨対策						
5年間の事業費(計画)	132百万円		R3事業費	12百万円	R4事業費	30百万円
豪雨対策施設整備	5箇所	R7	1箇所設計	山ノ神ポンプ場（1箇所）の減災・防災工事の設計	2箇所目着手（累計1箇所）	本城浄水場（1箇所）の減災・防災工事及び次年度整備箇所の設計
1-3 震災対策の拡充・強化						
1-3-1 上下水道施設の耐震化						
5年間の事業費(計画)	27,669百万円		R3事業費	6,154百万円	R4事業費	6,392百万円
浄水場耐震化率	59.2%	R7	59.2%（工事完了のR10で77.5%）	R4実施設計に向けた関係機関協議等	59.2%（工事完了のR10で77.5%）	本城浄水場の小竹系沈殿池などにかかる実施設計等
配水池の耐震化率	60.1%	R7	56.0%	皿山配水池耐震化工事 小熊野第一配水池耐震診断	56.0%	小熊野第一配水池耐震化実施設計
危険箇所整備	2箇所（累計10箇所）	R5	1箇所整備（累計9箇所）	葛葉配水池の災害対策（設計・整備工事）	1箇所整備（累計10箇所）	葛葉配水池～風師配水池導水路線の災害対策（整備工事）等実施
基幹管路の耐震適合率	51.6%	R7	48.7%	導水管の耐震化 0.4km 送水管の耐震化 1.4km 配水本管の耐震化 5.5km	50.0%	導水管の耐震化 0.56km 送水管の耐震化 1.1km 配水本管の耐震化 2.5km

中期経営計画実施事業設定目標一覧

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標（中期経営計画 最終目標）			令和3年度 予算		令和4年度 予算	
				項目	目標	目標年度	単年度の目標	取組内容	単年度の目標	取組内容
上水道事業				広域避難地等に至る配水管の耐震化	9箇所（累計26箇所）	R7	2箇所完了（累計19箇所）	配水管耐震化工事	2箇所完了（累計21箇所）	配水管耐震化工事
			1-3-2 バックアップ機能の強化							
				5年間の事業費(計画)	1,303百万円		R3事業費	259百万円	R4事業費	50百万円
				八重洲分岐～城野分岐送水管２条化	完了	R7	0.2km整備	送水管整備工事	0.2km整備	送水管整備工事
				井手浦系配水本管のループ化	完了	R7	0.1km整備	配水本管整備	実施設計	次年度整備箇所の実施設計
		1-4 危機管理体制の充実・強化								
			1-4-1 事故対応能力の向上							
				5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	－	R4事業費	－
				模擬事故訓練（局全体）	1回	毎年	1回	模擬事故訓練実施	1回	模擬事故訓練実施
				模擬事故訓練（水道部）	2回	毎年	2回	模擬事故訓練実施	2回	模擬事故訓練実施
				危機管理研修（水道部）	3回	毎年	3回	危機管理研修実施	3回	危機管理研修実施
			1-4-2 民間事業者や他都市等との連携強化							
				5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	－	R4事業費	－
				日本水道協会九州地方支部間での合同防災訓練	1回	毎年	1回	合同防災訓練実施（九州九都市参加）	1回	合同防災訓練実施（九州九都市参加）
				日本水道協会九州地方支部間での情報伝達訓練	1回	毎年	1回	情報伝達訓練実施（九州九都市参加）	1回	情報伝達訓練実施（九州九都市参加）
				19大都市間での情報伝達訓練	1回	毎年	1回	情報伝達訓練実施（19大都市参加）	1回	情報伝達訓練実施（19大都市参加）
			1-4-3 停電対策							
				5年間の事業費(計画)	325百万円		R3事業費	199百万円	R4事業費	0
				非常用発電設備整備	7箇所（累計15箇所）	R7	3箇所（累計11箇所）	本城管理棟、本城第2ポンプ棟、伊左座取水場に非常用発電設備整備	1箇所着手（累計12箇所目着手）	山ノ岬ポンプ場の非常用発電設備整備工事着手（R5年度完了予定）
			1-4-4 災害時における機能確保の推進							
				5年間の事業費(計画)	176百万円		R3事業費	59百万円	R4事業費	35百万円
				応急給水施設整備	6箇所	R7	応急給水計画策定	運搬給水を基本とした現計画の見直し	基本設計実施設計	応急給水施設整備に向けた基本設計・実施設計
				非常用給水袋備蓄	5万枚	毎年	5万枚維持	使用実績に応じて必要数を購入し、5万枚を維持	5万枚維持	使用実績に応じて必要数を購入し、5万枚を維持
				給水車運転資格取得支援者数	25人	R7	5人	平成19年度運転免許制度改正に伴い、準中型免許取得支援	5人	平成19年度運転免許制度改正に伴い、準中型免許取得支援
	2 いつでも安心して飲める安全な水を届ける									
		2-1 水源を守るための取組								
			2-1-1 水源林の保全							
				5年間の事業費(計画)	41百万円		R3事業費	8百万円	R4事業費	8百万円
				市民参加人数	360人以上	毎年	360人以上	水源地域での植樹・育樹活動	360人以上	水源地域での植樹・育樹活動

中期経営計画実施事業設定目標一覧

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標（中期経営計画 最終目標） 項目	目標	目標年度	令和3年度 予算 単年度の目標	令和3年度 予算 取組内容	令和4年度 予算 単年度の目標	令和4年度 予算 取組内容
上水道事業			2-1-2 遠賀川の水質保全							
				5年間の事業費(計画)	48百万円		R3事業費	10百万円	R4事業費	10百万円
				遠賀川環境保全活動団体への支援	40団体以上	毎年	40団体以上	住民団体等による遠賀川流域の環境保全活動・普及啓発活動に対する支援	40団体以上	住民団体等による遠賀川流域の環境保全活動・普及啓発活動に対する支援
				水質保全に向けた関連協議会への参加	2団体	毎年	2団体	遠賀川水系水環境保全・再生推進協議会 及び 遠賀川水系水道事業者連絡協議会 に参加	2団体	遠賀川水系水環境保全・再生推進協議会 及び 遠賀川水系水道事業者連絡協議会 に参加
		2-2 取水から蛇口までの水質管理								
			2-2-1 安全な水対策							
				5年間の事業費(計画)	277百万円		R3事業費	0	R4事業費	91百万円
				水安全計画のレビュー（見直し）	5件	毎年	5件	各浄水場で1件	5件	各浄水場で1件
				水処理の調査・研究	1件以上	毎年	1件以上	採水技術等の調査・研究 高機能粉末活性炭の導入・効果検証 等	1件以上	浄水技術の向上、分析技術の向上、高機能粉末活性炭の導入・効果検証 等
			2-2-2 水源や浄水場を有効に活用した水の供給							
				5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	－	R4事業費	－
				貯水状況に応じた東西応援	実施	毎年	実施	貯水量 多 ⇒東部：増、西部：減 貯水量 少 ⇒東部：減、西部：増	実施	貯水量 多 ⇒東部：増、西部：減 貯水量 少 ⇒東部：減、西部：増
			2-2-3 直結式給水の普及促進や小規模貯水槽水道の管理指導							
				5年間の事業費(計画)	130百万円		R3事業費	19百万円	R4事業費	21百万円
				小規模貯水槽水道の文書指導、直結式給水のPR	設置者全件（約3,000件）	毎年	設置者全件（約3,000件）	貯水槽水道管理水準向上のため、設置者（全件）へ文書指導実施	設置者全件（約3,000件）	貯水槽水道管理水準向上のため、設置者（全件）へ文書指導実施
			2-2-4 水質管理体制の充実							
				5年間の事業費(計画)	142百万円		R3事業費	21百万円	R4事業費	36百万円
				水道GLPの継続認定取得	継続取得	毎年	継続取得	本審査 （4年ごとの更新手続き）	継続取得	本審査 （コロナ禍により、R3年度→R4年度に変更）
				外部精度管理結果（良好判定）取得	2項目以上	毎年	2項目以上	良好判定取得	2項目以上	良好判定取得
				新たな検査項目の設定、監視	5項目	毎年	5項目	新たな検査項目を5項目設定	5項目	新たな検査項目を5項目設定
				新たな情報コンテンツの発信	2件	R7	調査・検討	R4の新たな情報コンテンツ発信に向け、お客さまの関心事等について調査	1件	学校や自宅等でもできる水質浄化実験の紹介 小学生が理解できる水質検査結果の解説等
	3 環境負荷の低減を図り、持続可能な社会に貢献する									
		3-1 環境負荷に配慮した事業の推進								
			3-1-3 再生可能エネルギーの活用							
				5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	－	R4事業費	－
				再生可能エネルギー利用率	15%以上	毎年	15%以上	既設の水力発電設備、太陽光発電設備の活用	15%以上	既設の水力発電設備、太陽光発電設備の活用
				二酸化炭素排出量削減（H17年度比）	2,200t	毎年	2,200t	H17年度比	2,200t	H17年度比
				新たな再生可能エネルギーの調査・研究	実施	毎年	実施	脱炭素化の局内ワーキング開催	実施	関係課において脱炭素化の取組を継続して調査・研究

中期経営計画実施事業設定目標一覧

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標（中期経営計画 最終目標） 項目	目標	目標年度	令和3年度 予算 単年度の目標	令和3年度 予算 取組内容	令和4年度 予算 単年度の目標	令和4年度 予算 取組内容
上水道事業			3-1-4 省エネルギーの推進							
				5年間の事業費(計画)	421百万円		R3事業費	6百万円	R4事業費	10百万円
				電力使用量	過去5年平均以下	毎年	過去5年平均以下	設備の更新や能力の適正化を実施	過去5年平均以下	設備の更新や能力の適正化を実施
				二酸化炭素排出量削減（H17年度比）	3,000t/年	R7	2,600t/年	穴生浄水場送水ポンプ更新	2,700t/年	穴生浄水場送水ポンプ更新
				新たな省エネルギー対策の調査・研究	実施	毎年	実施	脱炭素化の局内ワーキング開催	実施	関係課において脱炭素化の取組を継続して調査・研究
			3-1-5 資源の有効利用							
				5年間の事業費	22百万円		R3事業費	4百万円	R4事業費	4百万円
				浄水汚泥の有効利用	100%	毎年	100%	汚泥の有効利用実施	100%	汚泥の有効利用実施
				廃棄水道メーターの再資源化	100%	毎年	100%	廃棄水道メーターの再資源化実施	100%	廃棄水道メーターの再資源化実施
	7 健全な経営を行う									
		7-1 効率的・計画的な事業運営								
			7-1-1 上下水道施設の規模の最適化					1-1-2 再掲		1-1-2 再掲
			7-1-2 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新					1-1-1 再掲		1-1-1 再掲
		7-2 多様な収入の確保								
			7-2-2 水道・工業用水道利用促進対策							
				5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	－	R4事業費	－
				水道水の利用促進にかかるＰＲの実施	推進	毎年	営業活動実施	大口使用者特割制度の企業へのPR・安価な料金についてイベント等でのPRを実施	営業活動実施	大口使用者特割制度の企業へのPR・安価な料金についてイベント等でのPRを実施
工業用水道事業										
	1 市民生活を支える強靭な上下水道をつくる									
		1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新								
			1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新							
				5年間の事業費(計画)	4,217百万円		R3事業費	756百万円	R4事業費	761百万円
				浄水施設の長寿命化	3箇所	R7	管理棟等の長寿命化	本城管理棟、畑管理棟などの長寿命化工事実施（排泥池、沈殿池、濃縮槽はR5着手予定）	建築物などの長寿命化	小竹系沈殿池などの設計、本城排水処理棟の長寿命化工事等実施
				工業用水道管路の更新	4.3km	R7	1.3km更新	工業用水道管路の更新	0.4km更新（累計1.7km）	工業用水道管路の更新
		1-3 震災対策の拡充・強化								
			1-3-1 上下水道施設の耐震化					1-1-1 再掲		1-1-1 再掲
	7 健全な経営を行う									
		7-1 効率的・計画的な事業運営								
			7-1-2 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新					1-1-1 再掲		1-1-1 再掲
			7-1-4 AIやICTを活用した業務の効率化							
				5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	－	R4事業費	－
				スマート検針システム運用	開始	R3	開始	本格運用開始	R3開始済	－
		7-2 多様な収入の確保								
			7-2-2 水道・工業用水道利用促進対策							
				5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	－	R4事業費	－
				新規または増量件数	5件	R7	1件	PR活動の実施	1件（累計2件）	PR活動の実施

中期経営計画実施事業設定目標一覧

※事業費は再掲の数値あり

事業 / 将来像 / 重点施策 / 実施事業	設定目標（中期経営計画 最終目標） 項目	目標	目標年度	令和3年度 予算 単年度の目標	令和3年度 予算 取組内容	令和4年度 予算 単年度の目標	令和4年度 予算 取組内容
下水道事業							
1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる							
1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新							
1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新						［ ］は前年度2月補正を含んだ額	
	5年間の事業費(計画)	20,834百万円		R3事業費	4,396百万円	R4事業費	4,221［4,353］百万円
	浄化センター・ポンプ場設備の計画的な改築・更新	120設備（24設備/年）	R7	24設備	改築・更新（電気・機械設備機器）実施	24設備（累計48設備）	改築・更新（電気・機械設備機器）実施
	下水道管渠の点検調査	550km（110km/年）	R7	110km	点検・調査（TVカメラ調査等）実施	110km（累計220km）	点検・調査（TVカメラ調査等）実施
	下水道管渠の改築・更新	115km（23km/年）	R7	23km	改築・更新（管更生工事等）実施	23km（累計46km）	改築・更新（管更生工事等）実施
1-1-2 上下水道施設の規模の最適化							
	5年間の事業費(計画)	7,992百万円		R3事業費	640百万円	R4事業費	1,490百万円
	皇后崎・北湊処理区の再編	再編完了	R7	着手	下水道管の新設に係る実施設計	工事実施	下水道管の新設工事実施
	皇后崎浄化センターの再構築	3系統のうち1系統の集約化完了	R7	実施	改築・更新（第二処理場・最初沈殿池）	工事実施	第二処理場最初沈殿池の水処理設備の改築工事等実施
	中川通ポンプ場の移転改築	工事着手	R7	実施	都市計画決定・事業計画変更	基本設計	基本設計実施
	施設規模と機能の最適化	新町・日明処理区の検討着手	R7	R4以降	－	検討業務	再構築に向けた検討業務委託実施
1-2 豪雨対策の拡充・強化							
1-2-1 浸水被害の最小化					［ ］は前年度2月補正を含んだ額		
	5年間の事業費(計画)	14,320百万円		R3事業費	1,760［2,740］百万円	R4事業費	2,850百万円
	重点整備地区（16地区）のうち9地区の整備	9地区整備完了	R7	実施	天籟寺地区の整備完了 昭和町地区の整備	2地区（累計3地区）整備完了	今町一丁目地区・篠崎一丁目地区の整備完了 昭和町地区等の整備
1-2-2 上下水道施設の豪雨対策					［ ］は前年度2月補正を含んだ額		
	5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	0［10］百万円	R4事業費	0百万円
	耐水化計画の策定	完了	R3	完了	浸水リスクの高い下水道施設を対象に策定	R3策定済	－
	耐水化計画に基づく浸水防止設備の整備	実施	R7	R4以降	－	対策手法の検討完了	耐水化にかかる対策手法の検討
1-3 震災対策の拡充・強化							
1-3-1 上下水道施設の耐震化					［ ］は前年度2月補正を含んだ額		［ ］は前年度2月補正を含んだ額
	5年間の事業費(計画)	11,150百万円		R3事業費	1,610［2,200］百万円	R4事業費	1,320［2,025］百万円
	重要な15ポンプ場の耐震化率	73.3%	R7	20.0%	則松ポンプ場等の耐震補強工事実施	46.7%	門司港ポンプ場等の耐震補強工事実施
	重要な管渠の耐震化率	50.7%	R7	47.8%	重要な管渠の耐震化（約7km）実施	48.5%	重要な管渠の耐震化（約7km）実施
1-4 危機管理体制の充実・強化							
1-4-1 事故対応能力の向上							
	5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	－	R4事業費	－
	模擬事故訓練（局全体）	1回	毎年	1回	模擬事故訓練実施	1回	模擬事故訓練実施

中期経営計画実施事業設定目標一覧

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標（中期経営計画 最終目標）項目	目標	目標年度	令和3年度 予算 単年度の目標	令和3年度 予算 取組内容	令和4年度 予算 単年度の目標	令和4年度 予算 取組内容
下水道事業				模擬事故訓練（下水道部）	1回	毎年	1回	模擬事故訓練実施	1回	模擬事故訓練実施
				危機管理研修（下水道部）	1回	毎年	1回	危機管理研修実施	1回	危機管理研修実施
			1-4-2 民間事業者や他都市等との連携強化							
				5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	－	R4事業費	－
				地元民間事業者との訓練	1回	毎年	1回	地元民間事業者との訓練実施（設計コンサルタント等）	1回	地元民間事業者との訓練実施（設計コンサルタント等）
				21大都市間情報連絡訓練	1回	毎年	1回	大都市間情報連絡訓練実施（21大都市参加）	1回	大都市間情報連絡訓練実施（21大都市参加）
				被災を想定した他都市との合同訓練	1回	毎年	1回	他都市との訓練実施	1回	他都市との訓練実施
			1-4-4 災害時における機能確保の推進							
				5年間の事業費(計画)	50百万円		R3事業費	10百万円	R4事業費	10百万円
				マンホールトイレの整備（累計）	1箇所/年（累計11箇所）	R7	1箇所（累計7箇所）	中央公園の整備	1箇所（累計8箇所）	本城公園の整備
			1-4-5 自助・共助の促進に向けたソフト施策の充実　［　］は前年度2月補正を含んだ額							
				5年間の事業費(計画)	125百万円		R3事業費	0［110］百万円	R4事業費	200百万円
				内水浸水想定区域図の拡充	完了	R7	実施	内水浸水想定区域図の拡充	実施	内水浸水想定区域図（紫川流域等）の作成
				出前講演による周知	2件	毎年	2件	浸水被害軽減のための出前講演実施	2件	浸水被害軽減のための出前講演実施
	3 環境負荷の低減を図り、持続可能な社会に貢献する									
		3-1 環境負荷に配慮した事業の推進								
			3-1-1 合流式下水道の改善推進							
				5年間の事業費(計画)	5,100百万円		R3事業費	1,900百万円	R4事業費	1,600百万円
				合流改善達成率	100%	R5	84%	分流化（日明・皇后崎処理区）、簡易処理の高度化（日明・皇后崎浄化センター）	93%	分流化（日明・皇后崎処理区）、簡易処理の高度化（日明・皇后崎浄化センター）
			3-1-2 水質監視強化							
				5年間の事業費(計画)	151百万円		R3事業費	29百万円	R4事業費	29百万円
				浄化センターからの放流水質基準違反件数	0件	毎年	0件	放流水中の有害物質・生活環境項目等の実態把握	0件	放流水中の有害物質・生活環境項目等の実態把握
				工場等への立入検査	対象事業場等の半数（200件超）	毎年	対象事業場等の半数	届出内容や水質管理状況について立入検査実施	対象事業場等の半数	届出内容や水質管理状況について立入検査実施
				工場等への水質検査	対象事業場等について2回以上（500件程度）	毎年	対象事業場等について2回以上	事業場排水の水質検査実施	対象事業場等について2回以上	事業場排水の水質検査実施
				水質管理講習会実施	1回	毎年	1回	法規制の周知、下水道の適切な利用に関する啓発実施	1回	法規制の周知、下水道の適切な利用に関する啓発実施
				水質改善の調査・研究	1件	毎年	1件	疑似嫌気好気法運転におけるりん除去とＰＨＡの挙動について	1件	疑似嫌気好気法運転におけるりん除去に関する調査研究

中期経営計画実施事業設定目標一覧

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標（中期経営計画 最終目標）項目	目標	目標年度	令和3年度 予算 単年度の目標	令和3年度 予算 取組内容	令和4年度 予算 単年度の目標	令和4年度 予算 取組内容
下水道事業			3-1-3 再生可能エネルギーの活用							
				5年間の事業費(計画)	−		R3事業費	−	R4事業費	−
				再生可能エネルギー利用率	3%以上	毎年	3%以上	消化ガス・太陽光・風力・小水力発電の活用継続	3%以上	消化ガス・太陽光・風力・小水力発電の活用継続
				二酸化炭素排出量削減	535t	毎年	535t	消化ガス・太陽光・風力・小水力発電の活用による二酸化炭素排出量削減	535t	消化ガス・太陽光・風力・小水力発電の活用による二酸化炭素排出量削減
				新たな再生可能エネルギーの調査・研究	実施	毎年	実施	脱炭素化の局内ワーキング開催	実施	新たな再生可能エネルギーの調査・研究の継続
			3-1-4 省エネルギーの推進							
				5年間の事業費(計画)	50百万円		R3事業費	10百万円	R4事業費	10百万円
				ポンプ場照明設備のLED化（累計）	1箇所/年（累計6箇所）	R7	1箇所（累計2箇所）	大手町ポンプ場照明設備のLED化	2箇所（累計4箇所）	吉志ポンプ場・楠橋ポンプ場照明設備のLED化
				二酸化炭素排出量削減	25t/年（R2年度比）	R7	5t/年（R2年度比）	ポンプ場照明設備のLED化による二酸化炭素排出量削減	11.57t/年（R2年度比 前年度より6.57t増）	照明設備のLED化による二酸化炭素排出量削減
				新たな省エネルギー対策の調査・研究	実施	毎年	実施	脱炭素化の局内ワーキング開催	実施	新たな再生可能エネルギーの調査・研究の継続
			3-1-5 資源の有効利用							
				5年間の事業費(計画)	3,539百万円		R3事業費	704百万円	R4事業費	676百万円
				汚泥の有効利用率	100%	毎年	100%	セメント原料化・汚泥燃料化等実施	100%	セメント原料化・汚泥燃料化等実施
		3-2 環境負荷低減に向けた研究の推進								
			3-2-1 ウォータープラザ北九州の有効活用							
				5年間の事業費(計画)	22百万円		R3事業費	5百万円	R4事業費	5百万円
				【～R3年度】見学者の受入れ	200人以上	毎年	200人以上	海外研修生受入れなどによる技術力発信、情報交流・人的交流実施	−	−
				【R4年度～】運用者変更 → 新たな目標を検討中			−	−	検討中	
	7 健全な経営を行う									
		7-1 効率的・計画的な事業運営								
			7-1-1 上下水道施設の規模の最適化					1-1-2 再掲		1-1-2 再掲
			7-1-2 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新					1-1-1 再掲		1-1-1 再掲
共通事業										
	4 国内外へ貢献していく									
		4-1 上下水道事業の発展的広域化								
			4-1-1 多様な広域連携の推進							
				5年間の事業費(計画)	74百万円		R3事業費	18百万円	R4事業費	14百万円
				地区別勉強会、セミナー開催	1回以上	毎年	1回以上	近隣自治体との勉強会、セミナーの開催	1回以上	近隣自治体との勉強会、セミナーの開催
				技術研修の受入れ	7回以上	毎年	7回以上	近隣自治体職員の研修受入れ	7回以上	近隣自治体職員の研修受入れ
			4-1-2 外郭団体等との連携強化							
				5年間の事業費(計画)	5,343百万円		R3事業費	1,104百万円	R4事業費	1,172百万円
				宗像地区事務組合水道事業包括業務の受託	継続	毎年	継続	宗像地区事務組合（宗像市・福津市）の水道事業包括業務の受託継続	継続	宗像地区事務組合（宗像市・福津市）の水道事業包括業務の受託継続

中期経営計画実施事業設定目標一覧

※事業費は再掲の数値あり

事業	設定目標（中期経営計画　最終目標）項目	目標	目標年度	令和3年度　予算 単年度の目標	令和3年度　予算 取組内容	令和4年度　予算 単年度の目標	令和4年度　予算 取組内容
共通事業	受託業務の拡大	3件	R7	1件	北九州ウォーターサービスとの近隣自治体のニーズの共有、受注拡大への検討及び年次計画の検討	1件 （累計2件）	北九州ウォーターサービスとの近隣自治体のニーズの共有、受注拡大への検討及び年次計画の検討
	4-2 本市の技術力・経験を生かした国際貢献						
	4-2-1 上下水道技術の国際協力						
	5年間の事業費(計画)	232百万円		R3事業費	57百万円	R4事業費	73百万円
	研修員受入れ	【～R3年度】 380人 【R4年度～】 180人	毎年	380人	海外技術者育成に係る研修員受入れ	180人	海外技術者育成に係る研修員受入れ
	職員派遣	4人	毎年	4人	国際技術協力に係る職員派遣	4人	国際技術協力に係る職員派遣
	4-2-2 海外水ビジネスの推進・支援						
	5年間の事業費(計画)	532百万円		R3事業費	113百万円	R4事業費	114百万円
	市が関与するビジネス案件数	6件	毎年	6件	国際技術協力や企業の海外水ビジネス支援	6件	国際技術協力や企業の海外水ビジネス支援
	5 お客さまが求めるものをかたちにする						
	5-1 お客さまの理解と信頼を得る						
	5-1-1 効果的な広報・広聴活動の推進						
	5年間の事業費(計画)	243百万円		R3事業費	51百万円	R4事業費	45百万円
	広報活動によるお客さまの認知度	向上	R7	向上	広報紙の発行、副読本のWeb化等	向上	広報紙の発行、キッズサイト（Web化した副読本）の運用開始
	広聴活動によるお客さまニーズの把握	推進	R7	推進	上下水道モニターでのWebアンケート実施等	継続	上下水道モニターアンケートによるニーズの把握
	5-1-2 小学生を対象とした上下水道に関する情報発信						
	5年間の事業費(計画)	7百万円		R3事業費	2百万円	R4事業費	1百万円
	出前授業	各区1校	毎年	各区1校	市内小学生を対象に体験型学習を実施	各区1校	市内小学生を対象に体験型学習を実施
	5-2 お客さま満足度の向上						
	5-2-1 営業業務の見直し						
	5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	6百万円	R4事業費	4百万円
	ICT技術等を活用した新たな施策の調査・研究	推進	R7	口座振替インターネット手続き	口座振替インターネット手続きについて、システム改修、運用開始 5-2-2　再掲	口座振替インターネット手続き	口座振替インターネット手続きについて、システム改修、運用開始 5-2-2　再掲
	お客さまサービスの評価向上	推進	R7	お客さまサービス向上	お客さまサービス向上のために委託業務の管理・監督実施	お客さまサービス向上	お客さまサービス向上のために委託業務の管理・監督実施
	5-2-2 料金の支払や各種手続方法の拡充						
	5年間の事業費(計画)	20百万円		R3事業費	6百万円	R4事業費	4百万円
	料金支払方法の多様化、拡充	実施	R7	検討	スマートフォン決済取扱機関の拡充、納付書払いの電子マネー利用等について検討	検討	スマートフォン決済取扱機関の拡充、納付書払いの電子マネー利用等について検討
	口座振替インターネット手続き	開始	R3	開始	システム改修、運用開始	開始	システム改修、運用開始（他局と導入時期を合わせることとしたため、導入時期をR3→R4に変更）
	5-2-3 上下水道事業に関するアンケート調査の実施と施策への反映						
	5年間の事業費(計画)	6百万円		R3事業費	0.5百万円	R4事業費	0.4百万円
	アンケート調査を踏まえたお客さまニーズや課題への的確な対応	実施	R7	調査方法検討	アンケート調査の回数（頻度）・方法等について検討	モニターへアンケート調査実施	上下水道モニターへアンケート調査実施

中期経営計画実施事業設定目標一覧

※事業費は再掲の数値あり

事業	設定目標（中期経営計画 最終目標） 項目	目標	目標年度	令和3年度 予算 単年度の目標	令和3年度 予算 取組内容	令和4年度 予算 単年度の目標	令和4年度 予算 取組内容
共通事業	6 培われた高い技術を未来へつなぐ						
	6-1 職員の育成と活用						
	6-1-1 上下水道技術の継承・人材の育成						
	5年間の事業費(計画)	148百万円		R3事業費	30百万円	R4事業費	26百万円
	研修時間（延べ）	1万時間以上	毎年	1万時間以上	研修の実施	1万時間以上	研修の実施
	職員の資格保有	1人平均2つ以上	毎年	1人平均2つ以上	資格取得の支援	1人平均2つ以上	資格取得の支援
	インターンシップ受入れ	3件以上	毎年	3件以上	インターンシップの受入れ	3件以上	インターンシップの受入れ
	6-1-2 AI等を活用した技術の蓄積・継承の研究						
	5年間の事業費(計画)	101百万円		R3事業費	20百万円	R4事業費	20百万円
	AI及びICTなどを活用した技術の蓄積・継承の取組	2件以上	R7	1件以上	AIを活用した維持管理手法の研究	1件	AIを活用した維持管理手法の研究（R3から引き続き実施）
	6-1-3 上下水技術の国際協力				4-2-1 再掲		4-2-1 再掲
	6-2 民間事業者等との連携推進						
	6-2-1 民間事業者等との連携推進						
	5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	0.6百万円	R4事業費	2百万円
	業務の効率化・運営体制検討	推進	R7	推進	ボトルドウォーター在庫管理及び配送業務の委託化	推進	定型的な業務の自動化検討
	北九州ウォーターサービスや民間活力の活用	推進	R7	推進	北九州ウォーターサービスや民間事業者の活用に係る検討	推進	北九州ウォーターサービスや民間事業者の活用に係る検討
	6-2-2 産学官連携による研究開発の推進						
	5年間の事業費(計画)	17百万円		R3事業費	3百万円	R4事業費	3百万円
	新技術等の調査研究	1件以上	毎年	1件以上	民間企業等による実証実験の支援	1件以上	民間企業等による実証実験の支援
	7 健全な経営を行う						
	7-1 効率的・計画的な事業運営						
	7-1-3 民間事業者等との連携推進				6-2-1 再掲		6-2-1 再掲
	7-1-4 AIやICTを活用した業務の効率化						
	5年間の事業費(計画)	－		R3事業費	4百万円	R4事業費	144百万円
	効率化の取組件数	5件以上	R7	3件	①給水装置・排水設備事務の効率化（下水道台帳のWeb公開） ②工水のスマート検針による効率化 ③会議や研修の効率化（Web会議の導入・オンライン研修の活用）	3件（累計6件）	①給水装置・排水設備事務の効率化（工事申請電子化） ④施設運転維持管理の効率化（設備台帳システム構築、マッピングシステム機能強化(1-1-1 再掲)、AIを活用した水道管劣化診断導入調査(6-1-2 再掲)） ⑤水道のスマートメーター実証実験 ⑥営業業務の効率化（口座振替インターネット手続き導入(5-2-2 再掲)）
	7-2 多様な収入の確保						
	7-2-1 資産の有効活用						
	5年間の収入額(計画)	538百万円		R3収入額	105百万円	R4収入額	102百万円
	資産の利活用による収入	1億円以上	毎年	1億円以上	実施計画の策定 土地貸付等による収入の確保	1億円以上	土地貸付等による収入の確保
	7-2-3 多様な広域連携の推進				4-1-1 再掲		4-1-1 再掲

中期経営計画実施事業設定目標一覧

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標（中期経営計画 最終目標） 項目	目標	目標年度	令和3年度 予算 単年度の目標	取組内容	令和4年度 予算 単年度の目標	取組内容
共通事業		7-3 経営基盤強化に向けた検討								
			7-3-1 料金体系のあり方の検討							
				5年間の事業費(計画)	—		R3事業費	—	R4事業費	—
				料金体系の検討	実施	R7	実施	直近の実績（R2決算）や予定（R4予算）を踏まえた検討実施	実施	直近の実績（R3決算）や予定（R5予算）を踏まえた検討実施
				料金に関するアンケート調査	実施	R7	R7実施	—	R7実施	—
			7-3-2 外部検討会の開催							
				5年間の事業費(計画)	9百万円		R3事業費	1百万円	R4事業費	1百万円
				開催	2回	毎年	2回	中期経営計画の進捗の報告等	2回	中期経営計画の進捗の報告等

3　令和４年度　上下水道局予算　経営状況

【上水道事業会計】

〈水道事業〉

○収益的収支は、3.3 億円の黒字
○単年度資金収支は、14.0 億円のマイナス
（累積資金剰余（基金含む）　30.1 億円）
○企業債残高は、606.0 億円

〈水道用水供給事業〉

○収益的収支は、0.8 億円の黒字
○単年度資金収支は、0.7 億円の黒字を確保
（累積資金剰余　0.9 億円）
○企業債残高は、33.3 億円

【工業用水道事業会計】

○収益的収支は、2.8 億円の黒字
○単年度資金収支は、1.0 億円のマイナス
（累積資金剰余　18.6 億円）
○企業債残高は、18.4 億円

【下水道事業会計】

○収益的収支は、4.0 億円の黒字
○単年度資金収支は、6.1 億円のマイナス
（累積資金剰余　22.6 億円）
○企業債残高は、1,463.5 億円

（単位：百万円）

	上水道事業			工業用水道事業	下水道事業	合計
	水道事業	水道用水供給事業	小計			
収益的収入	19,996	904	20,900	2,000	27,235	50,135
料金(使用料)収入	15,331	788	16,119	1,723	14,660	32,502
収益的支出	19,667	821	20,487	1,723	26,836	49,046
収支差引	**329**	**83**	**413**	**278**	**398**	**1,089**
資本的収入	5,719	21	5,739	296	12,713	18,748
資本的支出	14,463	247	14,709	1,155	23,966	39,830
収支差引	▲ 8,744	▲ 226	▲ 8,970	▲ 859	▲ 11,253	▲ 21,081
補填財源	7,346	299	7,645	760	10,645	19,050
単年度資金収支	**▲ 1,398**	**73**	**▲ 1,325**	**▲ 99**	**▲ 608**	**▲ 2,032**
計画	▲ 844	74	▲ 770	6	▲ 569	▲ 1,333
計画比（予算-計画）	▲ 554	▲ 2	▲ 555	▲ 105	▲ 39	▲ 699
累積資金剰余	**3,009**	**89**	**3,098**	**1,862**	**2,262**	**7,222**
計画	4,174	76	4,250	1,915	2,650	8,815
計画比（予算-計画）	▲ 1,164	13	▲ 1,151	▲ 53	▲ 388	▲ 1,593
企業債残高	**60,597**	**3,326**	**63,923**	**1,844**	**146,351**	**212,117**
計画	59,375	3,326	62,701	1,811	144,067	208,579
計画比（予算-計画）	1,223	▲ 1	1,222	32	2,284	3,538

※水道事業の累積資金には、建設改良基金を含む

※表中の数字は四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と合計などは必ずしも一致しない。

（1）水道事業

（単位：百万円）

			R3年度 当初予算 （A）	R4年度 計画 （B）	R4年度 当初予算 （C）	前年度比 （C－A）	計画比 （C－B）
収益的収支	収益的収入 ①		19,883	20,037	**19,996**	113	▲ 41
		料金収入（原水除く）	15,351	15,359	**15,331**	▲ 21	▲ 29
		口径別納付金	420	451	**416**	▲ 4	▲ 35
		その他	4,112	4,227	**4,250**	138	24
	収益的支出 ②		19,377	19,354	**19,667**	289	313
		人件費	2,656	2,700	**2,603**	▲ 53	▲ 96
		維持管理費	3,173	3,197	**3,280**	106	82
		減価償却費等	8,282	8,196	**8,496**	214	301
		企業債利息	817	755	**759**	▲ 58	5
		その他	4,449	4,506	**4,528**	80	22
	収支差引 ③＝①－②		506	683	**329**	▲ 177	▲ 354
資本的収支	資本的収入 ④		5,161	4,963	**5,719**	558	756
		企業債	3,343	3,170	**3,878**	535	708
		基金繰入金	1,000	991	**992**	▲ 8	0
		その他	818	802	**849**	31	47
	資本的支出 ⑤		13,735	13,751	**14,463**	727	712
		整備費	8,754	8,886	**9,360**	606	473
		企業債償還金	3,399	3,351	**3,356**	▲ 43	5
		その他	1,582	1,514	**1,747**	165	233
	収支差引 ⑥＝④－⑤		▲ 8,574	▲ 8,788	**▲ 8,744**	▲ 169	44
補填財源 ⑦			7,321	7,944	**7,346**	25	▲ 598
単年度資金収支 ⑧＝⑥＋⑦			▲ 1,254	▲ 844	**▲ 1,398**	▲ 144	▲ 554
累積資金剰余 ⑨			4,407	4,174	**3,009**	▲ 1,398	▲ 1,164
基金残高 ⑩			992	0	**0**	▲ 992	0
累積資金剰余（基金含む） ⑪＝⑨＋⑩			5,399	4,174	**3,009**	▲ 2,389	▲ 1,164
企業債残高			60,075	59,375	**60,597**	522	1,223

支出の不用額が発生することなどを見込んでいるため、R4計画の方がR4予算よりも増えています。

施設整備が単年度で終わらずに翌年度にわたって整備を行うこと、それに伴い財源とする企業債の発行も翌年度にずれ込むことを見込んでいるため、R4計画の方がR4予算よりも少なくなっています。

（２）水道用水供給事業

（単位：百万円）

			R3年度当初予算（A）	R4年度計画（B）	R4年度当初予算（C）	前年度比（C－A）	計画比（C－B）
収益的収支	収益的収入 ①		905	904	**904**	▲ 1	0
		料金収入	788	788	**788**	0	0
		その他	116	116	**116**	▲ 1	0
	収益的支出 ②		816	830	**821**	5	▲ 10
		人件費	57	62	**56**	▲ 1	▲ 6
		維持管理費	198	223	**216**	18	▲ 7
		減価償却費等	311	307	**306**	▲ 4	▲ 1
		企業債利息	73	70	**70**	▲ 4	0
		その他	177	168	**173**	▲ 4	4
	収支差引 ③＝①－②		89	74	**83**	▲ 6	9
資本的収支	資本的収入 ④		20	20	**21**	0	0
	資本的支出 ⑤		228	238	**247**	19	9
		整備費	28	35	**43**	15	8
		企業債償還金	180	183	**183**	4	1
		その他	20	20	**20**	0	0
	収支差引 ⑥＝④－⑤		▲ 208	▲ 218	**▲ 226**	▲ 18	▲ 9
補填財源 ⑦			308	292	**299**	▲ 9	7
単年度資金収支 ⑧＝⑥＋⑦			100	74	**73**	▲ 27	▲ 2
累積資金剰余 ⑨			16	76	**89**	73	13
企業債残高			3,509	3,326	**3,326**	▲ 183	0

（3）工業用水道事業

（単位：百万円）

			R3年度当初予算（A）	R4年度計画（B）	R4年度当初予算（C）	前年度比（C－A）	計画比（C－B）
収益的収支	収益的収入 ①		2,001	1,975	**2,000**	▲ 1	25
		料金収入	1,724	1,692	**1,723**	0	31
		その他	278	283	**277**	▲ 1	▲ 6
	収益的支出 ②		1,694	1,761	**1,723**	29	▲ 39
		人件費	238	240	**248**	10	8
		維持管理費	353	360	**345**	▲ 8	▲ 15
		減価償却費等	671	688	**686**	15	▲ 2
		企業債利息	31	25	**25**	▲ 5	0
		その他	402	448	**419**	17	▲ 29
	収支差引 ③＝①－②		307	213	**278**	▲ 30	64
資本的収支	資本的収入 ④		285	272	**296**	11	24
		企業債	120	110	**143**	23	33
		国庫補助金	38	34	**25**	▲ 13	▲ 9
		その他	127	128	**128**	0	0
	資本的支出 ⑤		1,203	955	**1,155**	▲ 49	199
		整備費	822	628	**813**	▲ 8	186
		企業債償還金	161	140	**140**	▲ 20	1
		その他	221	187	**200**	▲ 21	13
	収支差引 ⑥＝④－⑤		▲ 918	▲ 683	**▲ 859**	59	▲ 175
補填財源 ⑦			749	689	**760**	11	70
単年度資金収支 ⑧＝⑥＋⑦			▲ 169	6	**▲ 99**	71	▲ 105
累積資金剰余 ⑨			1,961	1,915	**1,862**	▲ 99	▲ 53
企業債残高			1,841	1,811	**1,844**	3	32

（4）下水道事業

（単位：百万円）

		R3年度 当初予算 （A）	R4年度 計画 （B）	**R4年度 当初予算 （C）**	前年度比 （C−A）	計画比 （C−B）
収益的収支	収益的収入 ①	27,495	27,737	**27,235**	▲ 260	▲ 503
	下水道使用料収入	14,802	14,764	**14,660**	▲ 142	▲ 104
	一般会計繰入金	6,165	6,227	**6,100**	▲ 65	▲ 127
	その他	6,527	6,746	**6,475**	▲ 53	▲ 271
	収益的支出 ②	27,034	27,114	**26,836**	▲ 198	▲ 278
	人件費	1,086	1,102	**1,090**	3	▲ 12
	維持管理費	6,422	6,418	**6,480**	58	62
	減価償却費等	16,348	16,403	**16,198**	▲ 150	▲ 205
	企業債利息	1,778	1,713	**1,556**	▲ 223	▲ 157
	その他	1,399	1,478	**1,513**	114	34
	収支差引 ③＝①−②	461	623	**398**	▲ 63	▲ 224
資本的収支	※	(13,562)		**(13,550)**	(▲12)	(209)
	資本的収入 ④	11,842	13,340	**12,713**	872	▲ 627
	※	(6,200)		**(6,509)**	(309)	(137)
	企業債	5,340	6,372	**6,091**	751	▲ 281
	※	(4,964)		**(4,976)**	(12)	(60)
	国庫補助金	4,104	4,916	**4,557**	453	▲ 359
	その他	2,398	2,052	**2,065**	▲ 333	12
	※	(25,011)		**(24,803)**	(▲207)	(▲368)
	資本的支出 ⑤	23,291	25,171	**23,966**	675	▲ 1,206
	※	(12,180)		**(12,412)**	(232)	(0)
	整備費	10,460	12,412	**11,575**	1,115	▲ 838
	企業債償還金	9,063	8,737	**8,737**	▲ 326	0
	その他	3,767	4,022	**3,654**	▲ 113	▲ 368
	収支差引 ⑥＝④−⑤	▲ 11,449	▲ 11,831	**▲ 11,253**	196	579
補填財源 ⑦		10,739	11,262	**10,645**	▲ 94	▲ 618
単年度資金収支 ⑧＝⑥＋⑦		▲ 710	▲ 569	**▲ 608**	102	▲ 39
累積資金剰余 ⑨		2,870	2,650	**2,262**	▲ 608	▲ 388
企業債残高		148,997	144,067	**146,351**	▲ 2,646	2,284

※上段の青字カッコ書きは、前年度の2月補正予算を含んだ額

支出の不用額が発生することなどを見込んでいるため、R4計画の方がR4予算よりも増えています。

施設整備が単年度で終わらずに翌年度にわたって整備を行うこと、それに伴い財源とする企業債の発行も翌年度にずれ込むことを見込んでいるため、R4計画の方がR4予算よりも少なくなっています。

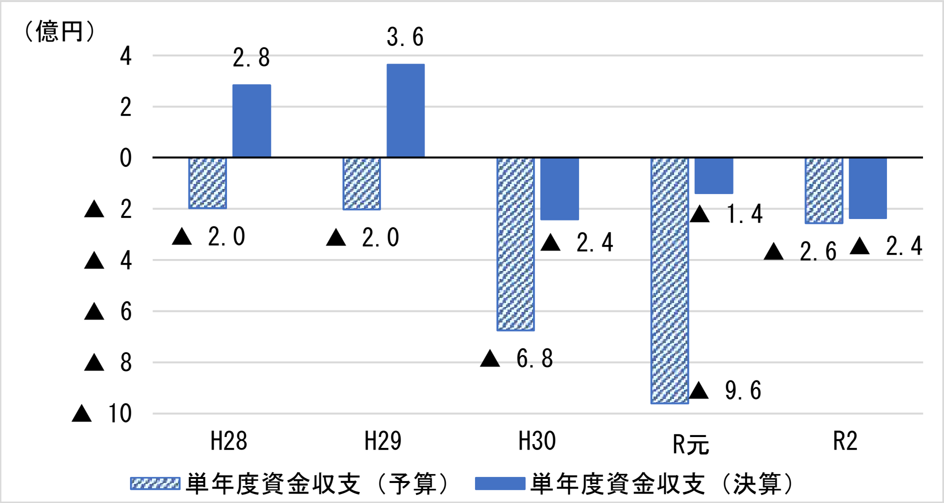
（5）参考

単年度資金収支の予算・決算比較（水道事業・下水道事業）

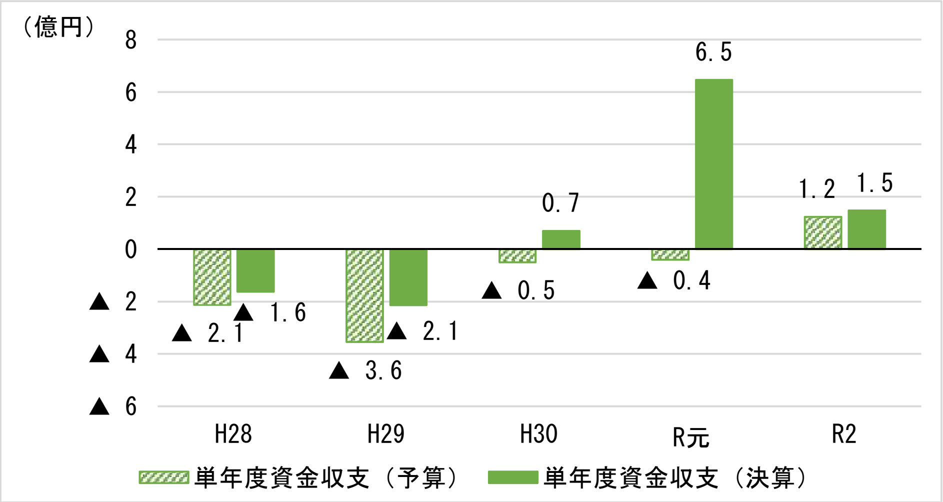
①水道事業

（単位：百万円）

	H28	H29	H30	R元	R2	平均
単年度資金収支（予算）	▲ 197	▲ 202	▲ 675	▲ 960	▲ 256	▲ 458
単年度資金収支（決算）	283	364	▲ 241	▲ 140	▲ 236	6
差引（決算 － 予算）	**481**	**566**	**434**	**820**	**20**	**464**



②下水道事業

（単位：百万円）

	H28	H29	H30	R元	R2	平均
単年度資金収支（予算）	▲ 213	▲ 355	▲ 50	▲ 40	123	▲ 107
単年度資金収支（決算）	▲ 162	▲ 214	70	646	148	97
差引（決算 － 予算）	**51**	**141**	**120**	**686**	**24**	**205**